

大阪府におけるブルーカーボン生態系関連事業



2024年5月

『大阪湾MOBAリンク構想』の実現に向けた府の取り組み

大阪・関西万博や全国豊かな海づくり大会を契機に、ブルーカーボン生態系の保全・再生・創出を加速化

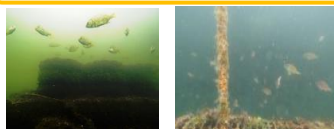
大阪湾奥部

湾南部

～2023

(2023年度)
大阪版万博アクション
プランに追加

(2019・2021年度)
湾奥部に適用可能な
環境改善技術の開発



(2022年度～)
民間事業者等との
連携強化

- 環境省「令和の里海づくり」モデル事業
- 企業所有護岸地先での取組実施
- (一社)ブルーオーシャン・イニシアチブと事業連携協定

令和6年度(2024)

(1) 万博会場周辺海域におけるブルーカーボン生態系の創出

万博までに会場周辺でクレジット
認証申請可能な規模で藻場創出

- 民間事業者の取組みを支援する補助制度を創設



(2) 大阪湾ブルーカーボン生態系創出支援

藻場創出への民間事業者等の参画促進に必要な情報を府が調査・提供

- 湾奥部の護岸において、藻場創出のポテンシャルを把握するため、水質(透明度、塩分等)や海藻の自生状況等を調査
- 簡易な藻場創出手法(スポアバッグ法等)の湾奥部への適用可能性について効果検証
- 藻場創出についてわかりやすく情報発信する広報資料の作成



2025

【大阪・関西万博】
府のテーマウィークや
民間パビリオン等でPR



大阪ヘルスケアパビリオン
イメージ

成果をPR



2025

2026

2030

【第45回全国豊かな
海づくり大会
(大阪開催)】
関連行事の企画展等
で成果等をPR



民間事業者等による
湾奥部における藻場創出促進
～傾斜型護岸に核となる藻場を創出～

2024年1月～大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス設置・取組活性化(大阪府・兵庫県共同事務局)

(泉佐野市以南)大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン(R4.1策定):2031年までに22haのブルーカーボン生態系を創出

大阪湾MOBAリンク構想の推進
(カーボンニュートラル・生物多様性への貢献)

(1) 万博会場周辺海域におけるブルーカーボン生態系の創出

- 万博開催に向けて会場周辺海域にブルーカーボン生態系を創出して大阪湾における取組を国内外に発信するため、民間事業者等による藻場創出の取組みを支援

① 藻場創出補助

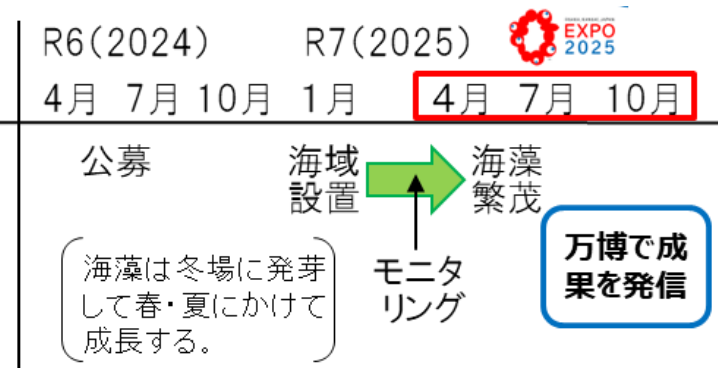
創出実績のある万博会場周辺海域の人工護岸において藻場の創出に取り組む民間事業者を公募し、その費用の一部を補助。

- 補助対象者：民間事業者等
- 補助対象：藻場の創出に要する費用
(海藻着生用の基質 (パネル等) の購入・製造費、設置費 等)
- 補助額：補助率1/2 (1区画 (300m²程度) あたりの補助上限額：500万円)
- 補助件数：5件程度

<事業のスケジュール>

② 藻場創出状況のモニタリング

藻場の創出状況を確認するため、水中ドローン等を活用したモニタリングを実施。

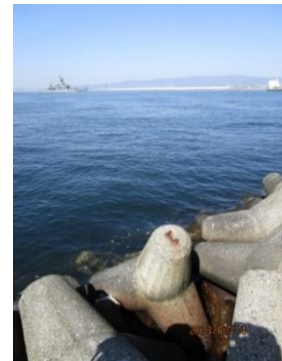
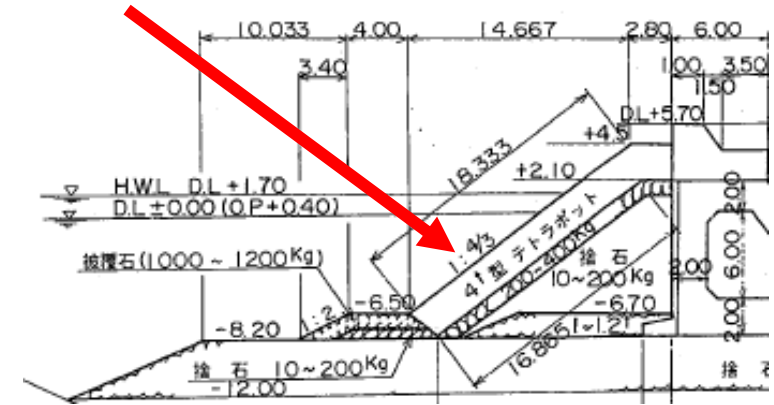
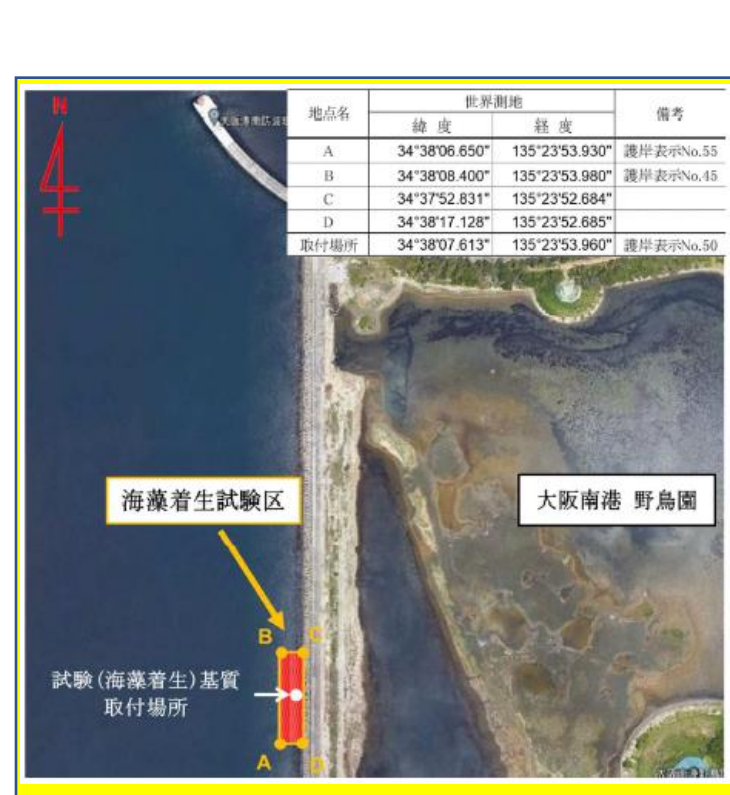


湾奥部での藻場創出実証（南港野鳥園護岸） ～「豊かな大阪湾」環境改善モデル事業（2021年度～）～

- 2021年12月、既設傾斜護岸の消波ブロックに、藻場が根付きやすい小型のパネルを設置。
2022年、2023年及び2024年の春に経年的にワカメの発芽を確認。

南港野鳥園護岸（万博会場の対岸）

設置水深3m程度（表層は淡水が入る）



湾奥部での藻場創出実証（南港野鳥園護岸） ～「豊かな大阪湾」環境改善モデル事業（2021年度～）～

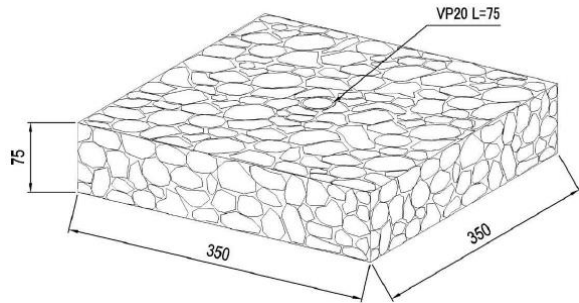
胞子が夏を越し発芽したことを確認

2021.12.9

2022.4.7

2023.3.14

2024.3.14



(2-1) 大阪湾ブルーカーボン生態系創出支援（藻場創出のポテンシャル調査）

- 大阪湾における藻場再生・創出への民間事業者等の参加を促進するため、湾奥部の藻場創出のポテンシャルが高い適地や効果的な造成方法をとりとまとめて公表。

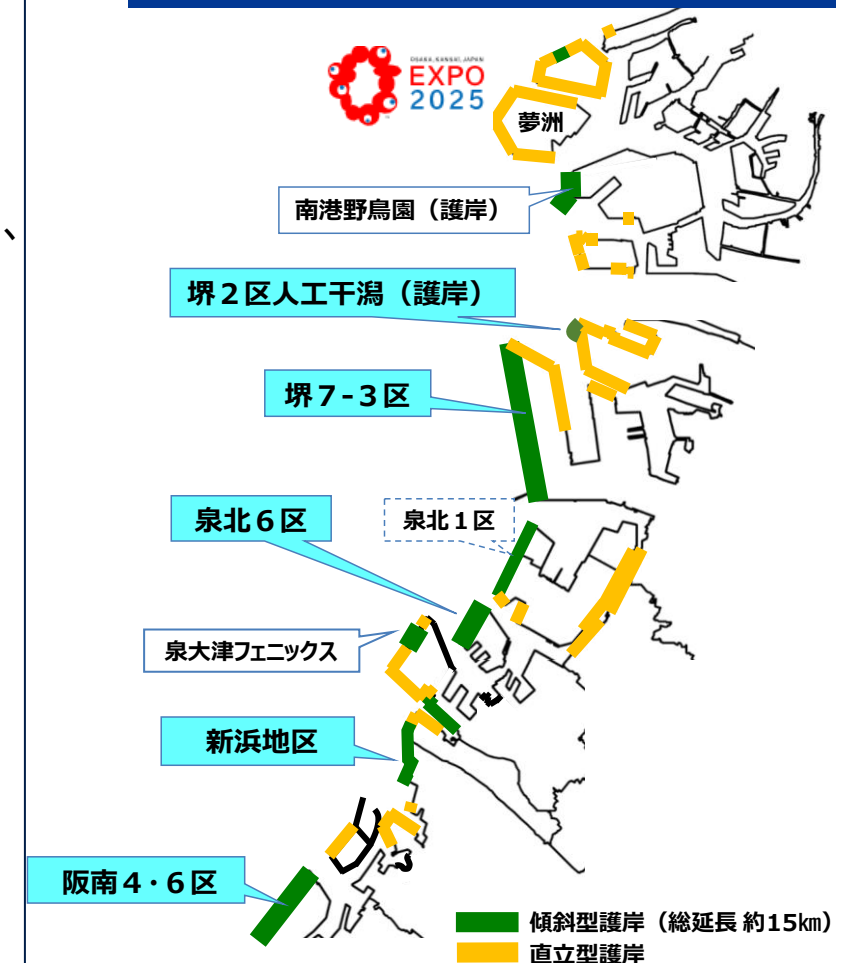
【ポテンシャル調査の実施・藻場造成手法（案）の作成・公表】

- ・ 湾奥部の傾斜型護岸（5地点・水色網掛）で、水質（透明度や栄養塩類濃度 等）や、海藻の自生状況、底質等を調査し、藻場創出の適地を明らかにする。
- ・ 調査結果を踏まえ、効果的な創出手法（海藻の種類や造成方法 等）をとりとまとめ、民間事業者等に向けて公表しブルーカーボン生態系の創出を促進する。

【主な調査項目】

項目	調査方法	1 海域あたり調査地点数
色相、透明度	透明度板により目視で確認	1～5 地点
水温、塩分、濁度、溶存酸素（DO）、pH、クロロフィル、光量子	多項目水質計による測定	1～5 地点
水深、動植物（海草・海藻等の自生状況含む）、底質の状況	ケーブル水中カメラ又は水中ドローンによる調査	5～10 地点
化学的酸素要求量（COD）、全窒素、全りん、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニア性窒素、りん酸態りん	1層での採水とし、水深については発注者と協議の上決定する。	1～2 地点

藻場創出に向けた調査地点



➤ 大阪湾における藻場創出の適地における再生・創出活動への参画をご検討ください

(2-2) 大阪湾ブルーカーボン生態系創出支援 (簡易な藻場創出手法の効果検証)

- 大阪湾内の海藻藻場 (関空島を想定) から採取した母藻を用いて、オープンスポアバッグ法などの藻場創出の簡易手法について湾奥部における適用可能性を検証。
- (2-1)の「藻場創出のポテンシャル調査」と併せて大阪湾奥部における藻場創出手法としてとりまとめる。

【実証候補地】

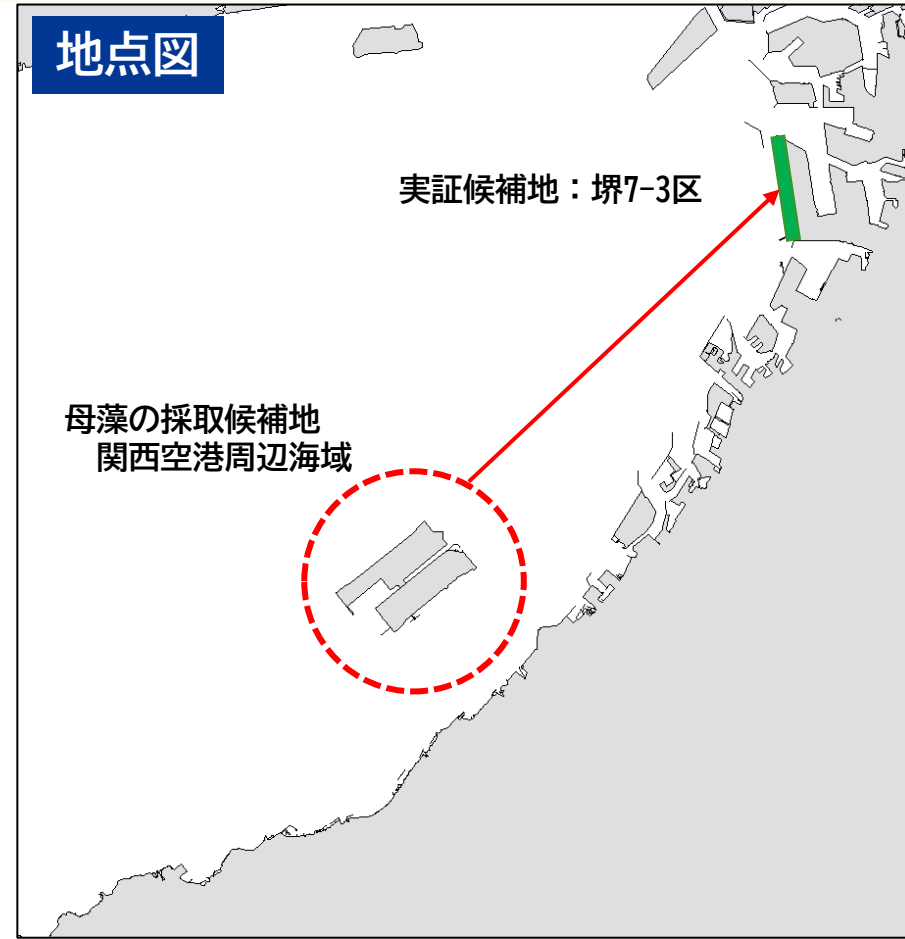
堺7-3区の傾斜型護岸
湾奥部の中でも特に緩やかな傾斜型護岸のため実証候補地として選定。

【候補種】

ワカメ (6月) もしくはカジメ (9月)

【効果検証】

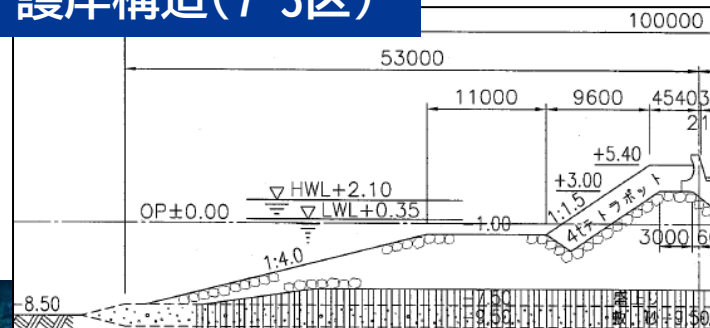
対象海藻の繁茂期に合わせて水中ドローンや水中カメラ等を用いて、藻場の状況や周辺の生物状況などを確認。(2025年3月頃)



簡易手法の例



護岸構造(7-3区)



(2-3) 大阪湾ブルーカーボン生態系創出支援 (大阪湾における取組の情報発信コンテンツ作成)

- 大阪湾における藻場創出の理解や民間企業の参入の促進のために、情報発信用のプロモーション素材を作成し、大阪・関西万博等の機会を捉えた情報発信を実施。

【撮影候補地：3か所】

水中ドローンや空中ドローン等を活用して、海中の映像を撮影

- ・ 南港野鳥園（護岸）・・・(1)の補助事業における創出内容
- ・ 海藻藻場及び生物の状況（関西国際空港周辺海域）
- ・ 海草藻場及び生物の状況（大阪湾南部（長松海岸の予定））

【コンテンツの内容】

- ・ 大阪湾における藻場創出の取組みの見える化
- ・ 藻場創出の過程や効果（生物多様性等の多面的な価値）
- ・ 大阪湾MOBAリンク構想
- ・ 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）の取組み 等

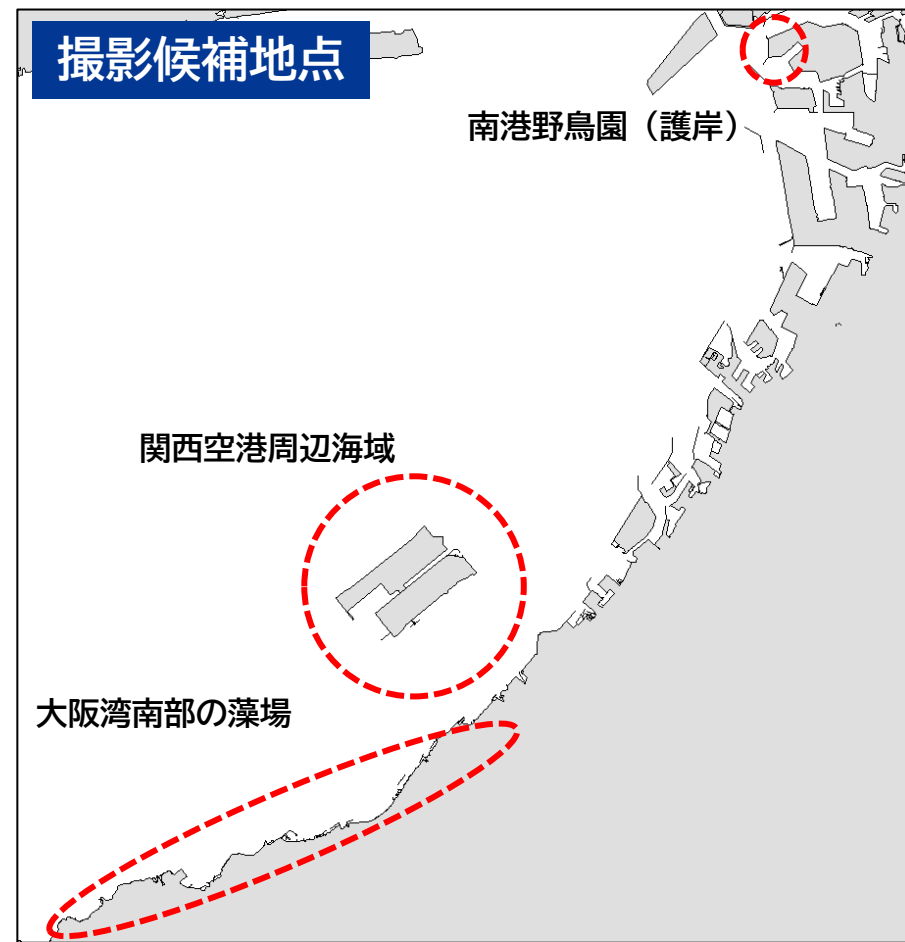
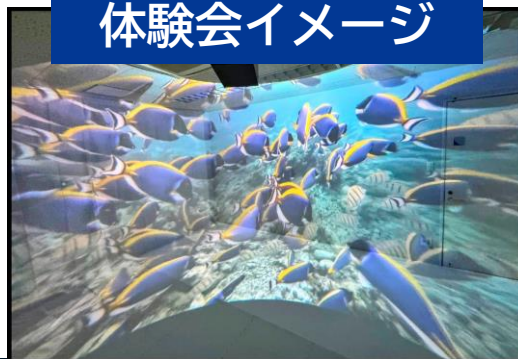
【体験会】

- ・ 12月頃にコンテンツの体験会を実施

水中ドローンの例

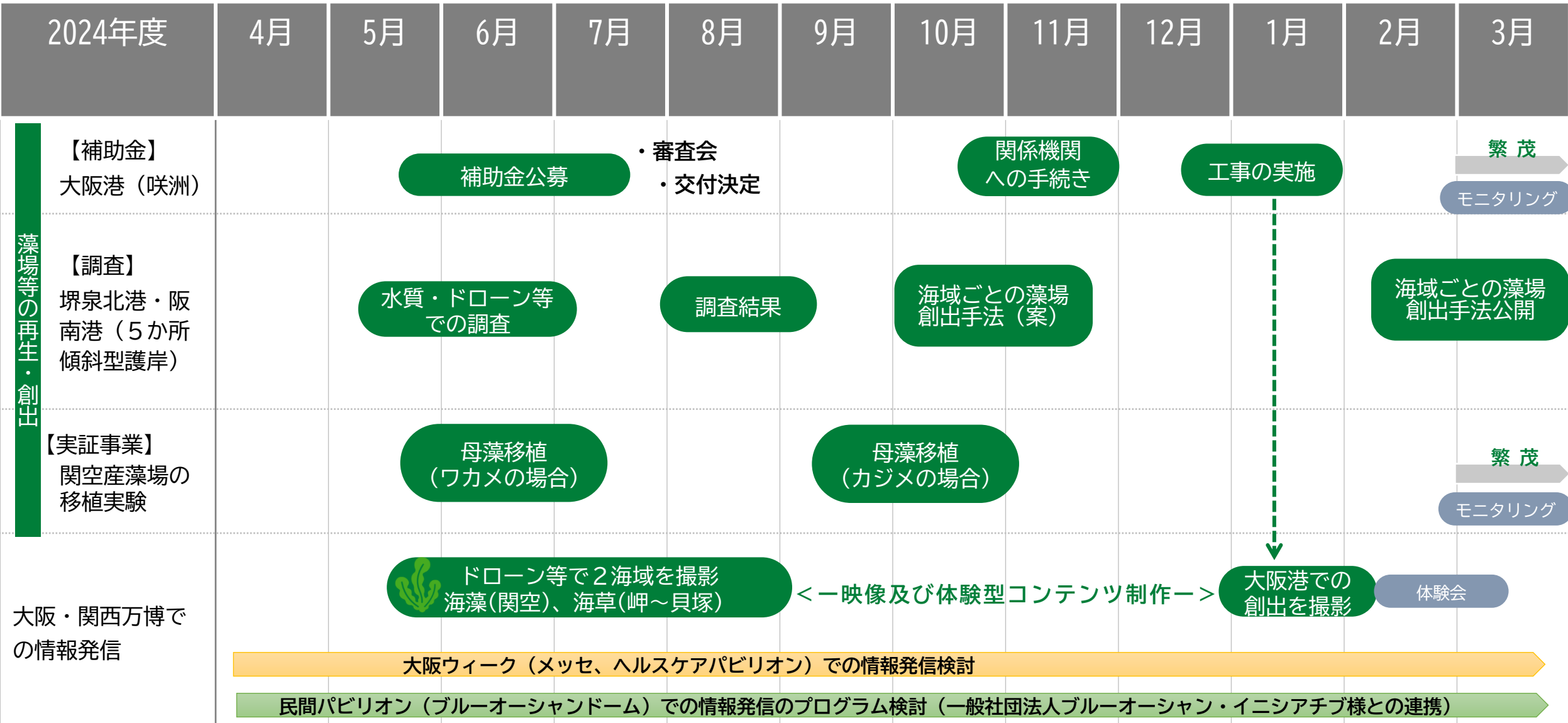


体験会イメージ



➤ 大阪湾における取組みの情報発信のために素材提供をお願いします。

(参考) 2024年度のスケジュール



藻場等の再生・創出